

申6号「2024年度年末手当に関する申し入れ」第2回交渉を行い回答を受ける！①

平均支給額だけ過去最高！

2.7ヶ月

平均支給額 635,404円

平均年齢 30.6歳 支給日 12月2日（予定）

本日、第2回団体交渉を行い、会社から申6号に対する回答を受けました。基本給月額の2.70ヶ月という昨年同様の支給月数である回答を引き出すことが出来ました。しかし、要求した月数より低いことや再考はしないとの会社からの言葉から、その場では妥結の判断をせず、会社回答を持ち帰り、組織内で議論を行うこととしました。

昨年の年末手当は、同様月数の回答であったがそれまでにない過去最高ということもあったため、夏季手当や賃金引き上げなど継続したたたかいをつくり出してきました。また、今回も夏季手当交渉同様、ホームページを活用したアンケートを実施し、職場の声を広く集め交渉で訴えてきました。

このような協議会としてのたたかいの結果として、本日会社回答を引き出しましたが納得考えられず、持ち帰る判断をしました。

アンケートに回答していただいたみなさん、ありがとうございました！

回答いただいたアンケートの中で、みなさんに「年末手当はどの位の支給を望まれるか？」という設問に対し、平均を計算したところ「3.15ヶ月」という結果が出ました。それだけみなさんが期待や望んでいるという結果が出ています。しかしながら会社の回答は2.7ヶ月です。これだけ現場と経営幹部の意識のずれ違いが発生しています。その現実を経営幹部にはしっかり受け取ってもらうために、訴え続けます！

会社は組合の人数を見て、組織力を図っています。
要求を実現するために、JR東労組に結集しよう！